

第1学年 No.1

学習主題	オリエンテーション〔歌唱〕			
学習主題のねらい	級友とともに歌う喜びを味わい、音楽学習への意欲・態度を育てる。			
教材例	明日という大空	ハロー ハロー	さよなら	
教材の特性	明るくおおらかに希望を歌う	合唱であいさつ	ア カペラの響き	

評価規準	音楽への関心・意欲・態度	音楽的な感受や表現の工夫	表現の技能	鑑賞の能力
	曲の魅力を感じ取り、級友とともに歌う活動に楽しんで参加している。	曲の気分や特徴を感じ取って表現を工夫している。	曲の気分や特徴を生かして表現する技能を身に付けている。	
Aと見なしうる姿	歌詞や曲の気持ちに共感し、級友とともに歌を楽しんで積極的に活動している。	明るい気分やリズムの変化を感じ取って、自分なりに表現を工夫している。	明るく響く声で、リズムや強弱の変化を生かして歌うことができる。	
Cと思われる生徒への対応の例	<ul style="list-style-type: none"> 先輩や他のクラスなどの身近な人たちの演奏を聴かせる。 グループや個人での活動を組み入れる。 	<ul style="list-style-type: none"> 速度やリズム、強弱の変化を強調して表現してみる。 	<ul style="list-style-type: none"> 身体を動かして心や体をほぐし、伸び伸び表現させる。 呼吸の仕方や声の響かせ方を指導・助言する (p.7, p.20) 	

指導のポイント (評価の場)	明日という大空	明るくはつらつとした表現 クラス、グループ、個人での音楽活動
	ハロー ハロー	明るい歌声 望ましい姿勢や呼吸の仕方 パート選び
	さよなら	ア カペラの響き カデンツ 響きのある歌声

第1学年 No.2

学習主題	リズムとハーモニー〔歌唱／器楽〕			
学習主題のねらい	リズムの違いやハーモニーの変化を感じ取って表現する能力を育てる。			
教材例	主人は冷たい土の中に	こげよ マイケル	レイン レイン	聖者の行進
教材の特性	二部形式 伴奏と旋律	リズム伴奏の工夫	曲の気分の変化	アルト リコーダーの基本奏法

評価規準	音楽への関心・意欲・態度	音楽的な感受や表現の工夫	表現の技能	鑑賞の能力
	リズムやハーモニーの違い・変化を感じて表現する活動に、興味をもって参加している。	リズムやハーモニーの違い・変化を感じ取って表現を工夫している。	リズムの違いやハーモニーの変化を生かして表現する技能を身に付けている。	
Aと見なしうる姿	リズムやハーモニーの違い・変化に興味をもち、聴取や表現によってその効果を楽しむ活動に積極的に参加している。	リズムやハーモニーの違い・変化による効果を感じ取って、強弱や歌い方を自分なりに工夫している。	リズムの違いやハーモニーの変化を、強弱や歌い方で効果的に表現することができる。	
Cと思われる生徒への対応の例	<ul style="list-style-type: none"> ・教師や級友の歌唱を楽しむようにさせる。 ・手拍子や体のパフォーマンスを取り入れる。 	<ul style="list-style-type: none"> ・対照的な部分について、その違いを強調して表現したり、体の動きで表したりしてみる。 	<ul style="list-style-type: none"> ・リズム打ちや階名唱、強弱表現の練習を組み入れる。 ・楽器の操作を確認し、習熟練習を組み入れる。 	

指導のポイント (評価の場)	主人は冷たい土の中に	歌、リコーダー、ピアノによるアンサンブル 伴奏の響きと旋律の表現
	こげよ マイケル	リズム伴奏の工夫 グループによる合唱奏
	レイン レイン	リズムの違いやハーモニーの変化による気分の違いの感じ取りと表現
	聖者の行進	美しい音のための息の使い方 タンギング

第1学年 No.3

学習主題	混声合唱の響き〔歌唱〕			
学習主題のねらい	混声合唱の響きを楽しみ、合唱表現の能力を育てる。			
教材例	パフ	朝の風に		
教材の特性	混声合唱の響き	声部のバランス		

評価規準	音楽への関心・意欲・態度	音楽的な感受や表現の工夫	表現の技能	鑑賞の能力
	声の響き合いを楽しんで表現する活動に、意欲をもって参加している。	声の響き合いを感じ取り、声部と声部とのバランスを意識して表現を工夫している。	声部と声部とのバランスを工夫して表現する技能を身に付けている。	
Aと見なしうる姿	声の響き合いや声部の役割の変化による効果を楽しんで、積極的に活動している。	他の声部との響き合いを感じ取り、声部の役割を生かし、強弱を工夫して表現している。	パートの役割に応じて強弱を変化させたり、正しい音程やリズムで歌うことができる。	
Cと思われる生徒への対応の例	<ul style="list-style-type: none"> ・声域を調べたり、級友と声を響き合わせる活動を組み入れて声の響きへの関心を深める。 ・「いろいろな合唱の響きを味わおう!!」(p.50)の鑑賞を組み入れる。 	<ul style="list-style-type: none"> ・互いの声部の声を聴き合い、他の声部の動きに反応して表現させる。 ・演劇での主役と脇役の関係を想起させる。 	<ul style="list-style-type: none"> ・「響きのある声を見つけよう!!」(p.20)の学習を組み入れ、呼吸や声の出し方を工夫させる。 ・階名唱を取り入れたり、音程のずれを指摘したりする。 	

指導のポイント (評価の場)	パフ	混声合唱を楽しむ 明るく響きのある声 正しい音程
	朝の風に	声部の役割を生かした合唱 明るく響きのある声

第1学年 No.4

学習主題	旋律の重なり〔歌唱〕			
学習主題のねらい	旋律の重なり方や受け渡しの効果を生かして表現する力を育てる。			
教材例	あの鳥のように	コーヒーはいかが	ドナ ドナ	地球の回る速さで
教材の特性	二つの旋律の組み合わせ	三部輪唱	旋律の重なり方の違い	旋律の受け渡し

評価規準	音楽への関心・意欲・態度	音楽的な感受や表現の工夫	表現の技能	鑑賞の能力
	旋律の組み合わせの効果に関心をもって表現する活動に意欲的に参加している。	旋律の組み合わせの効果を感じ取って表現を工夫している。	旋律の重なり方の効果を生かして表現する技能を身に付けている。	
Aと見なしうる姿	旋律の重なりや受け渡しの効果を生かして表現する活動に積極的に取り組んでいる。	旋律の重なりや受け渡しの効果を感じ取り、声部の役割を生かして表現を工夫している。	旋律の重なりや受け渡しの効果を生かし、声部のバランスを考えて強弱を工夫したり、旋律の歌いだしや抑揚を表情豊かに表現することができる。	
Cと思われる生徒への対応の例	・平易な輪唱を取り上げて、旋律の受け渡しや響きの効果を感じ取らせる。	・互いの声部の声を聴き合い、重なりの効果を感じ取らせる。 ・旋律の歌い出しや、旋律の抑揚の表現に留意させる。	・呼吸の仕方や息のコントロールの仕方を指導・助言する。	

指導のポイント (評価の場)	あの鳥のように	旋律の重なり方の効果を生かす 旋律の抑揚を感じた表現
	コーヒーはいかが	輪唱の楽しさ 響きのある声
	ドナ ドナ	旋律の重なり方や受け渡しの効果を生かす
	地球の回る速さで	旋律の重なり方や受け渡しの効果を生かす 声の響き合いを生かした表現

第1学年 No.5

学習主題	詩と旋律〔歌唱／創作〕			
学習主題のねらい	詩と音楽が一体となった美しさを感じ取って表現する能力を育てる。			
教材例	花の街	赤とんぼ	創作2	
教材の特性	詩情を味わう	言葉と旋律の一体感	言葉の感じの表現	

評価規準	音楽への関心・意欲・態度	音楽的な感受や表現の工夫	表現の技能	鑑賞の能力
	日本語や日本歌曲の詩情に共感し、意欲的に表現活動に取り組んでいる。	日本語や日本歌曲の美しさを感じ取って表現を工夫している。	日本語や日本歌曲の美しさを表現する技能を身に付けている。	
Aと見なしうる姿	日本語の味わいを生かして旋律を作ったり、日本歌曲の詩情を感じ取って表現する活動に積極的に取り組んでいる。	日本語のアクセントや旋律の抑揚、日本歌曲の詩情を感じ取り、強弱や歌い方を工夫して自分なりに表現している。	日本語のアクセントや旋律の抑揚を生かし、発音や強弱の変化によって効果的に表現することができる。	
Cと思われる生徒への対応の例	<ul style="list-style-type: none"> ・ わらべ歌、言葉あそび歌を取り入れて学習を進める。 ・ 鑑賞を通して日本歌曲の詩情を感じ取らせる。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 音読や詩の朗読によって、日本語の味わいを感じ取らせる。 ・ 旋律の抑揚に応じた強弱の変化や強弱記号を意識して表現を工夫させる。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 母音、子音、濁音の発音を意識して表現させる。 ・ 強弱記号を生かした表現の練習に取り組ませる。 	

指導のポイント (評価の場)	花の街	詩の心 曲の美しさの感じ取り
	赤とんぼ	言葉と旋律の一体感 強弱記号を手がかりにした表現の工夫
	創作2	日本の言葉による旋律づくり

第1学年 No.6

学習主題	イメージと音楽〔鑑賞〕				
学習主題のねらい	音楽の様々な要素による効果を感じ取る能力を育てる。				
教材例	魔王	春	ブルタバ	アッピア街道の松	いろいろなアンサンブルを聴こう
教材の特性	音楽の劇的内容と表現	音楽の気分の変化	標題と音楽	オーケストラの多彩な響き	いろいろなジャンルのアンサンブル

評価規準	音楽への関心・意欲・態度	音楽的な感受や表現の工夫	表現の技能	鑑賞の能力
	曲の気分や特徴に関心をもち、それらの変化に興味をもって聴いている。	曲の気分と音楽を特徴づけている諸要素の効果を感じ取っている。		
Aと見なしうる姿	それぞれの曲の気分や特徴、またそれらが変化する様相をとらえようとして積極的に聴いている。	それぞれの曲の気分や特徴を、諸要素の効果と関連づけて感じ取っている。		諸要素がどのような働きをしているか、どのような変化をしているかなどを感じ取って聴くことができる。
Cと思われる生徒への対応の例	・ 歌詞やソネット、標題を手がかりに鑑賞への意欲を高める。 ・ 音楽を聴いて浮かんだイメージを言葉で表現してみる。	・ 音楽から受けた気分や印象を話し合ったりしながら、音楽的諸要素とのかかわりに気づかせる。		・ 諸要素の変化によってどのような気分の変化が生じるかに注意して聴くようにさせる。

指導のポイント (評価の場)	魔王	詩と音楽が一体となった劇的表現 シューベルトの音楽
	春	ソネットと音楽 音楽の気分の変化 弦楽合奏
	ブルタバ	標題と音楽 オーケストラの響き
	アッピア街道の松	オーケストラの多彩な響き 音楽の諸要素の効果の感じ取り
	いろいろなアンサンブルを聴こう	アンサンブルの楽しさ 多様な音楽の楽しさ 音の特徴

第1学年 No.7

学習主題	日本の伝統音楽〔鑑賞〕			
学習主題のねらい	雅楽に親しむ。			
教材例	陵王乱序（舞楽）	越天楽（管絃）		
教材の特性	舞を伴った雅楽	管絃打楽器による雅楽		

評価規準	音楽への関心・意欲・態度	音楽的な感受や表現の工夫	表現の技能	鑑賞の能力
	雅楽の特徴に興味をもち、意欲的に聴いている。	雅楽の楽器の響きや独特な表現効果を感じ取っている。		雅楽のもつ総合性や独自性を理解し、その独特な魅力を感じ取って聴いている。
Aと見なしうる姿	雅楽の特徴ある面、衣装、舞、楽器に興味をもち、積極的に聴いたり調べたりしている。	雅楽の楽器の独特な響きを感じ取ったり、微少な音程の変化やリズムの変化を感じ取っている。		雅楽の魅力を独特な響きや音楽表現、また舞などとの総合的な効果から感じ取って聴いている。
Cと思われる生徒への対応の例	<ul style="list-style-type: none"> 舞楽の映像や面、衣装の写真などを活用する。 アジア諸国の芸能と関連づけて関心を高める。 	<ul style="list-style-type: none"> リコーダーで微少な音程の変化をまねてみる。 非拍節的なリズム（諸来など）をまねてみる。 		<ul style="list-style-type: none"> 雅楽とアジア諸国の地理的・時代的なかわりにも目を向けさせ、文化学習としての扱いも工夫する。

指導のポイント (評価の場)	陵王乱序	舞を伴った雅楽 面、衣装、舞、音楽の一体化した効果
	越天楽	管絃打楽器による雅楽 雅楽の楽器 独特な表現効果

第1学年 No.8

学習主題	アジアの音楽と郷土の音楽〔鑑賞〕			
学習主題のねらい	楽器の響きを通していろいろな音楽に親しむ。			
教材例	アジアの民族音楽	郷土の音楽		
教材の特性	アジアの音楽に親しむ	郷土の音楽に親しむ		

評価規準	音楽への関心・意欲・態度	音楽的な感受や表現の工夫	表現の技能	鑑賞の能力
	アジアや郷土の音楽に興味をもち、意欲的に聴いている。	アジアや郷土の音楽に用いられる楽器の響きや音楽表現の特徴を感じ取っている。		
Aと見なしうる姿	アジアや郷土の音楽に用いられる楽器や音楽表現に興味をもち意欲的に聴いたり、調べたりしている。	アジアや郷土の音楽に用いられる楽器の音色や音楽表現の特徴を感じ取っている。		アジアや郷土の音楽が地域や文化とかわりながら、それぞれ独特な性格をもつことを理解して聴いている。
Cと思われる生徒への対応の例	・ 現地の映像や類似の楽器を紹介する。	・ 同類の西洋楽器の音や音楽と聴き比べて、それぞれの特徴を感じ取らせる。		・ 各地域の音楽を生活・文化の映像とともに紹介する。

指導のポイント (評価の場)	アジアの民族音楽	アジアの楽器の特徴と音色 独特な音楽表現
	郷土の音楽	日本の楽器の響き 各地域の音楽の特色

第2学年 No.1

学習主題	オリエンテーション〔歌唱〕			
学習主題のねらい	級友とともに合唱する喜びを味わい、音楽活動への意欲を高める。			
教材例	夢の世界を	とどけよう 友達に		
教材の特性	歌で心をつなぐ 混声三部合唱の響き	歌い合わせる楽しさ 旋律と旋律とのかかわり		

評価規準	音楽への関心・意欲・態度	音楽的な感受や表現の工夫	表現の技能	鑑賞の能力
	Aと見なしうる姿	曲の魅力を感じて表現し、級友との合唱活動に意欲的に参加している。	曲の気分や特徴を感じ取って合唱表現を工夫している。	曲の気分や特徴を生かして表現する技能を身に付けている。
Cと思われる生徒への対応の例	<ul style="list-style-type: none"> グループ合唱や三重唱など、いろいろな合わせ方をする。 他のクラスなどのいろいろな演奏を聴かせる。 	<ul style="list-style-type: none"> 曲の中で対照的な部分を取り出して対比させ、それぞれの特徴をとらえさせる。 	<ul style="list-style-type: none"> 響きのある声を工夫させたり、強弱記号に注意させたりする。 教材曲の一部を取り出し、強弱による表現を練習する。 	

指導のポイント (評価の場)	夢の世界を	8分の6拍子の旋律 混声三部合唱の響き
	とどけよう 友達に	旋律と旋律とのかかわり 歌い合わせる楽しさ

第2学年 No.2

学習主題	音楽の楽しみ〔歌唱／器楽〕			
学習主題のねらい	編曲によって音楽の雰囲気が変わるおもしろさを味わい、より広く音楽を楽しもうとする意欲を育てる。			
教材例	ラヴァース コンチェルト	心の中にきらめいて		
教材の特性	旋律の重なり 原曲との比較	原曲との比較		

評価規準	音楽への関心・意欲・態度	音楽的な感受や表現の工夫	表現の技能	鑑賞の能力
	編曲による音楽の変化に興味をもって意欲的に活動している。	編曲による音楽の変化を感じ取って表現を工夫している。	編曲による音楽の雰囲気の変化を生かして表現する技能を身に付けている。	
Aと見なしうる姿	編曲による音楽の雰囲気の変化に興味をもって、積極的に表現や話し合いの活動に参加している。	編曲による音楽の雰囲気の変化を感じ取り、その違いを生かして歌い方や伴奏型を工夫している。	編曲による音楽の雰囲気の変化の特徴を生かして、旋律や伴奏型を工夫する技能を身に付けている。	
Cと思われる生徒への対応の例	・歌や楽器による表現活動や鑑賞活動を組み合わせて学習を進める。	・リズムや旋律など、音楽の諸要素との関係に注意させて表現の工夫を進める。 ・楽器による音色の変化の効果を生かすようにする。	・手拍子などの体によるリズム表現を練習させる。	

指導のポイント (評価の場)	ラヴァース コンチェルト	原曲との比較 旋律の重なり 伴奏型の工夫 リコーダーアンサンブル
	心の中にきらめいて	原曲との比較 思いをこめた表現 混声四部合唱の響き

第2学年 No.3

学習主題	速度と強弱〔歌唱〕			
学習主題のねらい	速度や強弱の変化による曲想の違いを理解して表現する力を育てる。			
教材例	花の季節	サンタ ルチア		
教材の特性	速度や強弱の対比と変化	豊かな歌唱表現		

評価規準	音楽への関心・意欲・態度	音楽的な感受や表現の工夫	表現の技能	鑑賞の能力
	速度や強弱の変化による効果に興味をもち、意欲をもって学習に取り組んでいる。	速度や強弱の変化による効果を感じ取って表現を工夫している。	速度や強弱の変化による効果を生かして表現する技能を身に付けている。	
Aと見なしうる姿	速度や強弱の変化による効果に興味をもち、積極的に感想を発表したり表現したりしている。	速度や強弱の変化による緊張感や解放感を感じ取り、その効果を生かして表現を工夫している。	速度や強弱の対比や変化による効果を生かして表現する技能を身に付けている。	
Cと思われる生徒への対応の例	・速度や強弱の変化を生かした曲を鑑賞させて、興味と関心を高める。	・体を動かしたり、指揮を試みたりしながら速度や強弱の変化による効果を感じ取らせて表現の工夫をする。	・豊かな響きの声で歌えるよう、呼吸や発声の仕方を指導したり助言したりする。 ・体の動きによって速度の変化に反応する能力を高める。	

指導のポイント (評価の場)	花の季節	速度や強弱の変化による効果 リズム伴奏の工夫 ロマニーの音楽
	サンタ ルチア	曲想を生かす表現 演奏記号を生かした表現 カンツォーネの魅力

第2学年 No.4

学習主題	ア カペラの響き〔歌唱／鑑賞〕			
学習主題のねらい	人の声だけでつくり上げる響きの豊かさを感じて表現する能力を育てる。			
教材例	Kum ba yah	ア カペラの合唱（鑑賞）		
教材の特性	ア カペラの響き	人の声の多様な美しさ		

評価規準	音楽への関心・意欲・態度	音楽的な感受や表現の工夫	表現の技能	鑑賞の能力
	独特な声の響きを聴いたり，表現する活動に意欲的に参加している。	声の響きの多様な美しさや声部の組み合わせによる変化を感じ取って表現を工夫している。	豊かな響きの声で表現するための技能を身に付けている。	声の響きの多様な美しさを感じ取って鑑賞している。
Aと見なしうる姿	声の響きの豊かさと同様さに興味をもち，感想を発表したり表現したりして積極的に活動している。	いろいろな声の響きの美しさを感じ取り，声部の組み合わせの効果を感じ取って表現を工夫している。	ア カペラの豊かな響きを表現するための発声のしかたや正しい音程で歌う技能を身に付けている。	多様な声の響きの中にもそれぞれに独特な美しさがあることを感じ取って鑑賞している。
Cと思われる生徒への対応の例	・スポーツの応援の声，掛け声などを聴き，声の響きへの関心を高める。	・声部の分担を変えたり，斉唱と合唱とを組み合わせで演奏したりし，その効果を感じ取らせる。	・1年の「響きのある声を見つけよう!!」の学習を組み入れ，呼吸や声の出し方を工夫させる。 ・部分的に階名唱を取り入れ，正しい音程に留意させる。	・生活の中の身近な声，祭りなどの行事の中の声など，いろいろな声を聴いて感想を発表する活動を組みこむ。

指導のポイント (評価の場)	Kum ba yah	ア カペラの響き 声部の組み合わせ 演奏の仕方の工夫
	ア カペラの合唱（鑑賞）	声の響きの多様な美しさ

第2学年 No.5

学習主題	旋律のまとまり〔歌唱〕			
学習主題のねらい	旋律のまとまりや曲の構成に気づいて表現する能力を育てる。			
教材例	翼をください	夏の日	贈りもの	
教材の特性	曲の構成 リズムの違い	旋律のまとまり		

評価規準	音楽への関心・意欲・態度	音楽的な感受や表現の工夫	表現の技能	鑑賞の能力
	曲の構成の特徴に関心をもって意欲的に音楽活動に取り組んでいる。	曲の構成の特徴を理解して表現を工夫している。	曲の構成の特徴を理解して表現する技能を身に付けている。	
Aと見なしうる姿	旋律やリズムの特徴から曲の構成に関心をもち、その効果を生かして表現する活動に積極的に取り組んでいる。	曲の中でのリズムの変化を感じ取り、旋律のまとまり方を理解して表現を工夫している。	旋律の抑揚やリズムの変化を効果的に表現する技能を身に付けている。	
Cと思われる生徒への対応の例	・旋律やリズムを生かして表現することが音楽を魅力的にし、感動を高めることを実感できるよう配慮する。	・手拍子や打楽器を加えたり、旋律のまとまりと表情についての学習活動を組み入れたりして表現を工夫させる。	・旋律の反復や発展によって気分が高まっていく効果を感じ取らせながら強弱の表現技能を身に付けさせる。	

指導のポイント (評価の場)	翼をください	曲の構成を生かした表現 速度変化やリズム伴奏の工夫
	夏の日	贈りもの 心情を感じ取った表現 旋律のまとまりを生かした表現 旋律と旋律とのかかわり

第2学年 No.6

学習主題	旋律と伴奏〔歌唱／鑑賞〕			
学習主題のねらい	伴奏の響きを味わいながら、日本歌曲の旋律を表現する力を育てる。			
教材例	浜辺の歌	夏の思い出	荒城の月（鑑賞）	
教材の特性	伴奏の響きと旋律の抑揚	日本語の美しさ・伴奏の響きの変化	詩の構成と曲の構成 創成期の日本歌曲	

評価規準	音楽への関心・意欲・態度	音楽的な感受や表現の工夫	表現の技能	鑑賞の能力
	日本語の美しさや旋律と伴奏とのかかわりの効果に興味をもって表現活動に取り組んでいる。	日本語の美しさや旋律と伴奏とのかかわりの効果を感じ取って表現を工夫している。	日本語の美しさや伴奏の効果を生かして表現する技能を身に付けている。	詩の構成を意識しながら聴いている。
Aと見なしうる姿	詩情を味わい、旋律と伴奏とのかかわりに関心をもち、曲のよさを生かして表現しようと積極的に活動している。	詩の韻律や詩情を感じ取り、伴奏の効果を生かして自分なりの表現を工夫している。	日本語の美しさを生かした発音や伴奏の響きに合わせて旋律を表現する技能を身に付けている。	詩の「起承転結」の構成と曲の構成が一致していることを味わって聴いている。
Cと思われる生徒への対応の例	・鑑賞を通して日本歌曲への関心を高め、詩情を感じ取らせる。	・詩の朗読によって日本語の味わいを感じ取らせる。 ・伴奏のリズムや響きの変化に注意して、表現を工夫させる。	・母音、子音、濁音、鼻濁音の発音を意識して表現させる。 ・強弱記号を生かす表現の練習に取り組ませる。	・歌詞を朗読させ、詩の構成に気づかせる。 ・音域の変化などから曲の構成に気づかせる。

指導のポイント (評価の場)	浜辺の歌	伴奏の形 伴奏の響きと旋律の抑揚
	夏の思い出	日本語の美しさ 詩情の表現 伴奏の響きの変化
	荒城の月（鑑賞）	創成期の日本歌曲 詩情の感じ取り 詩の構成と曲の構成

第2学年 No.7

学習主題	オーケストラの響き〔鑑賞〕			
学習主題のねらい	オーケストラの豊かな響きや楽曲構成の特徴を感じ取って鑑賞する能力を育てる。			
教材例	交響曲第5番 八短調	交響曲と協奏曲	いろいろな楽器のアンサンブルを聴こう	鍵盤楽器の音楽を聴こう
教材の特性	オーケストラの豊かな響き 楽曲の構成	オーケストラと独奏楽器による 合奏	アンサンブルの魅力	鍵盤楽器の仕組みと音色

評価規準	音楽への関心・意欲・態度	音楽的な感受や表現の工夫	表現の技能	鑑賞の能力
	オーケストラの響きや楽曲構成に興味をもって意欲的に聴いている。	オーケストラの響きや楽曲構成について音楽の諸要素とのかかわりを感じ取っている。		音楽の諸要素や構成の仕方が、曲の気分や特徴と結びついていることを感じ取って聴いている。
Aと見なしうる姿	オーケストラの豊かな響きや楽曲構成の仕方に興味をもって積極的に曲を聴いたり調べたりしている。	オーケストラの響きや楽曲構成の特徴を、音楽の諸要素や反復などによる構成の仕方など関連づけて感じ取っている。		音楽の諸要素の変化や楽曲構成の仕方が、曲の気分や特徴と結びついて効果を発揮していることを感じ取って聴いている。
Cと思われる生徒への対応の例	・アンサンブル曲との対比でオーケストラの響きの豊かさを感じ取らせる。	・音色について鍵盤楽器やアンサンブルと比較し、オーケストラの響きの特徴を感じ取らせる。		・反復や応答などの構成の仕方の効果を、動機のリズム打ちなどで感じ取らせる。

指導のポイント (評価の場)	交響曲第5番 八短調	オーケストラの豊かな響き 動機の発展による構成 ベートーヴェンの音楽
	交響曲と協奏曲	独奏楽器とオーケストラ
	いろいろな楽器のアンサンブルを聴こう	アンサンブルの魅力 オーケストラとの対比
	鍵盤楽器の音楽を聴こう	それぞれの鍵盤楽器の特徴 それぞれの音楽の特徴

第2学年 No.8

学習主題	日本の伝統音楽〔鑑賞／器楽〕			
学習主題のねらい	日本の楽器の響きに親しみ、日本の伝統音楽を愛好する心情を育てる。			
教材例	巢鶴鈴慕	六段の調	さくら（器楽）	
教材の特性	尺八の奏法と表現	箏の音色と表現	箏の基本奏法	

評価規準	音楽への関心・意欲・態度	音楽的な感受や表現の工夫	表現の技能	鑑賞の能力
	日本の伝統楽器に興味をもち、鑑賞や表現に意欲的に取り組んでいる。	尺八・箏の音色やその表現の仕方の特徴を感じ取っている。	箏で平易な旋律を弾くことができる技能を身に付けている。	日本の伝統楽器の音色の特徴やその奏法による独特な表現を聞き取っている。
Aと見なしうる姿	尺八・箏の特性やその音楽に興味をもち、積極的に音楽活動に取り組んでいる。	尺八・箏の音色やその奏法による効果を感じ取って表現を工夫している。	箏の音色を感じ取りながら「さくら」の旋律を弾くことができる。	日本の伝統音楽のよさを楽器の特性やその奏法による独特な効果から聞き味わっている。
Cと思われる生徒への対応の例	・尺八や箏のいろいろな奏法の効果を聴かせて興味をもたせる。	・リコーダーやピアノなどの西洋の楽器と比較して、日本の伝統楽器の音色や特性をとらえさせる。	・平調子の調弦で弾き慣れるようにする。	・リコーダーやピアノなどの西洋の楽器の演奏と比較して、日本の伝統楽器による音楽の味わいを感じ取らせる。

指導のポイント (評価の場)	巢鶴鈴慕	尺八の音色 尺八の独特な表現
	六段の調	箏の音色 箏の独特な表現
	さくら（器楽）	箏の音楽に親しみ 日本の旋律 平調子

学習主題	世界の音楽と郷土の音楽〔鑑賞〕			
学習主題のねらい	歌声を通していろいろな音楽に親しみ、多様な音楽のよさを味わう態度を育てる。			
教材例	郷土の音楽	世界の民族音楽		
教材の特性	民謡の独特な味わい	世界の諸民族の歌声		

評価規準	音楽への関心・意欲・態度	音楽的な感受や表現の工夫	表現の技能	鑑賞の能力
	Aと見なしうる姿	日本の民謡や諸民族の音楽に興味をもち、意欲的に学習活動に取り組んでいる。	日本の民謡や諸民族の音楽の固有な味わいや特徴を感じ取っている。	
Cと思われる生徒への対応の例	・それぞれの地域の人々の生活や文化を記録した映像などを活用して関心を高める。	・独特な声の響きや節回しに焦点を当てて特徴を感じ取らせる。		・人々の生活や地域の文化との関連を大切にして、独特な味わいを感じ取らせる。

指導のポイント (評価の場)	郷土の音楽	歌と人々の気持ち 旋律の歌い方 (節回し)
	世界の民族音楽	諸民族の音楽の特徴

第2学年 No.10

学習主題	暮らしの中の音楽〔鑑賞〕			
学習主題のねらい	社会や暮らしの中での音楽に関心を持ち、音楽を通して生活を豊かにする態度を育てる。			
教材例	交響曲第9番 ほか	音と暮らし		
教材の特性	生活を豊かにする音楽	日本人の音意識		

	音楽への関心・意欲・態度	音楽的な感受や表現の工夫	表現の技能	鑑賞の能力
評価規準	身近な音環境や音楽に関心をもって学習活動に取り組んでいる。	「歓喜の歌」の気分や曲想を歌詞や音の響きから感じ取っている。		生活の中の音や音楽が生活をより豊かにしていることを理解して鑑賞している。
Aと見なしうる姿	身近な音響や生活の中の音楽に関心をもって音楽を聴いたり調べたりする活動に積極的に参加している。	「歓喜の歌」の気分や曲想が、歌詞や諸要素の特徴と一体となって成り立っていることを感じ取っている。		生活の場面に応じて、音楽が人々の生活をより豊かにしていることを理解し、楽しんで鑑賞している。
Cと思われる生徒への対応の例	・家庭や学校生活の中の音響や音楽について、その働きや気分とのかかわりを調べてみる。	・オーケストラと合唱による壮大な曲想に注目させる。		・卒業式などを例に取り上げて、音楽が人の気持ちに深くかかわっていることに気づかせる。

指導のポイント (評価の場)	交響曲第9番 ほか	オーケストラと合唱 ベートーヴェンの音楽
	音と暮らし	季節と音 伝統文化と音 現代社会の音

第3学年 No.1

学習主題	日本の歌〔歌唱／鑑賞〕			
学習主題のねらい	広く親しまれている日本の歌を味わい，愛好する心情を育てる。			
教材例	花	早春賦（鑑賞）	上を向いて歩こう	いい日旅立ち
教材の特性	日本人の心情 豊かな表現	日本人の心情 抑揚豊かな旋律	日本のポピュラーソング	日本のポピュラーソング

評価規準	音楽への関心・意欲・態度	音楽的な感受や表現の工夫	表現の技能	鑑賞の能力
	日本の歌の詩情に関心をもって表現したり鑑賞したりする活動に，意欲的に参加している。	日本の歌の詩情や曲の特徴を感じ取って表現を工夫している。	日本の歌の詩情や曲の特徴を感じ取って，言葉や旋律の抑揚を表現する技能を身に付けている。	日本の歌の詩情と曲の魅力を感じ取って味わっている。
Aと見なしうる姿	日本の歌の歌詞の意味や詩情を味わい，自分なりに表現したり鑑賞したりする活動に積極的に参加している。	日本の歌の詩情や言葉と旋律とのかかわりなどの特徴を感じ取って，自分なりに歌唱表現を工夫している。	日本の歌の詩情や曲の特徴を感じ取って，言葉や旋律の抑揚を効果的に表現する技能を身に付けている。	詩と音楽とのかかわりの特徴や歌のよさを聴き取り，自分なりの感想をもつことができる。
Cと思われる生徒への対応の例	・歌詞の朗読，曲の鑑賞と表現，感想発表など，多様な活動を組み入れる。	・詩の朗読によって日本語の味わいを感じ取らせる。 ・言葉と旋律とのかかわりの特徴や多様性に注意させる。	・言葉の発音や旋律の特徴を生かして歌うよう助言する。 ・強弱記号を生かす表現の練習に取り組みさせる。	・創成期の日本歌曲とポピュラーソングとを聴き比べ，感想を話し合ってみる。

指導のポイント (評価の場)	花	桜（花）に対する日本人の心情 流麗な旋律 二部合唱（二重唱）
	早春賦（鑑賞）	春を待つ心 8分の6拍子の抑揚豊かな旋律
	上を向いて歩こう	現代の日本の歌 言葉と旋律の特徴 リズム伴奏の工夫
	いい日旅立ち	日本の自然や人に寄せる思い 旋律の流れとコード進行

第3学年 No.2

学習主題	旋律の表情〔歌唱〕			
学習主題のねらい	旋律のまとまりや抑揚を感じ取って表現する能力を育てる。			
教材例	Tomorrow	風の中の青春		
教材の特性	おおらかな旋律 各部分の旋律の特徴	各部分の旋律の特徴		

評価規準	音楽への関心・意欲・態度	音楽的な感受や表現の工夫	表現の技能	鑑賞の能力
	言葉の抑揚や旋律の特徴に関心をもって意欲的に活動している。	各部分の旋律の特徴を感じ取って表現を工夫している。	各部分の旋律の特徴を感じ取って表現する技能を身に付けている。	
Aと見なしうる姿	言葉の抑揚や旋律の特徴を感じ取ったり、その効果を生かして表現する活動に積極的に取り組んでいる。	各部分の旋律の特徴を感じ取り、その効果を生かす表現を工夫している。	各部分の旋律の特徴を感じ取り、その効果を生かして表現する技能を身に付けている。	
Cと思われる生徒への対応の例	・おおらかで伸びやかな旋律のよさを感じ取らせるようにする。	・音の動き方に注意して、各部分の気分の違いを感じ取らせる。	・伸び伸びと歌う部分、細かい動きを生かして歌う部分の歌い方を練習する。	

指導のポイント (評価の場)	Tomorrow	旋律の特徴を生かした表現 声のバランス
	風の中の青春	旋律の特徴を生かした表現 それぞれの旋律の役割

第3学年 No.3

学習主題	ア カペラの響き〔歌唱〕			
学習主題のねらい	ア カペラの豊かな響きを味わい、合唱表現の能力を育てる。			
教材例	歌おう 喜びあふれて	星の世界		
教材の特性	六声の輪唱	混声四部合唱の響き		

評価規準	音楽への関心・意欲・態度	音楽的な感受や表現の工夫	表現の技能	鑑賞の能力
	人の声の豊かな響きに関心をもって意欲的に表現している。	ア カペラの豊かな響きを感じ取って表現を工夫している。	ア カペラの豊かな響きを感じ取って表現する技能を身に付けている。	
Aと見なしうる姿	人の声の豊かな響きに関心を持ち、その効果を味わったり表現したりする活動に積極的に取り組んでいる。	ア カペラの豊かな響きを感じ取り、その効果を十分に生かして表現を工夫している。	ア カペラの豊かな響きを感じ取り、その効果を十分に生かして表現する技能を身に付けている。	
Cと思われる生徒への対応の例	・いろいろなア カペラの曲を聴いて感想を話し合ってみる。	・平易なカデンツを歌い合わせて声の響き合いを感じ取らせる。 ・強弱の変化による効果を感じ取らせる。	・声の豊かな響かせ方や強弱の変化のさせ方を練習する。	

指導のポイント (評価の場)	歌おう 喜びあふれて	六声の輪唱 素朴で楽しい表現 リズム伴奏の工夫
	星の世界	オーソドックスな混声四部合唱 全体の響きの調和 強弱の変化

第3学年 No.4

学習主題	世界の愛唱歌〔歌唱／創作〕				
学習主題のねらい	世界に知られているいろいろな歌のよさを感じ取り，多様な音楽に親しもうという意欲を育てる。				
教材例	Edelweiss	帰れソレントへ	Hey Jude	自由への讃歌	アド リブを楽しもう！
教材の特性	ミュージカルの魅力	カンツォーネの雰囲気	ビートルズの音楽	ジャズによる合唱	アド リブによる創作

評価規準	音楽への関心・意欲・態度	音楽的な感受や表現の工夫	表現の技能	鑑賞の能力
	地域や現代の社会と音楽とのかかわりに関心をもって多様な音楽に親しもうとしている。	歌詞や曲の表すメッセージをくみ取って表現を工夫している。	それぞれの音楽の特徴を生かして表現する技能を身に付けている。	
Aと見なしうる姿	地域や現代の社会と音楽とのかかわりに関心をもって多様な音楽に親しむ活動に積極的に取り組んでいる。	歌詞や曲の表すメッセージを理解し，音楽的諸要素の特徴を生かして表現を工夫している。	曲の気分と音楽的諸要素との関係を生かし，効果的に表現する技能を身に付けている。	
Cと思われる生徒への対応の例	・鑑賞を組み入れ，特に映像によって興味を喚起するように努める。	・「語りかけるように」「呼びかけるように」など，メッセージの伝え方に注意させる。	・拍子やリズム，調の変化に注意させる。 ・演奏記号に注意して効果的な表現の仕方を練習する。	

評価のポイント (評価の場)	Edelweiss	ミュージカル 歌と器楽のアンサンブル
	帰れソレントへ	カンツォーネ 曲の構成による気分の変化 演奏記号
	Hey Jude	エイトビート メッセージの心情 ビートルズ
	自由への讃歌	合唱によるジャズ 自由へのメッセージ 混声合唱の響き
	アド リブを楽しもう！	アド リブによる創作

第3学年 No.5

学習主題	オペラとバレエ〔鑑賞〕			
学習主題のねらい	オペラとバレエの名曲を通して総合的な舞台芸術に親しもうとする意欲を育てる。			
教材例	オペラの名曲	バレエの名曲		
教材の特性	人間の心情と表現	踊りと音楽		

評価規準	音楽への関心・意欲・態度	音楽的な感受や表現の工夫	表現の技能	鑑賞の能力
	オペラやバレエの名曲を通して舞台芸術に親しもうとしている。	曲の気分や、気分の変化をもたらす上での音楽の諸要素の効果を感じ取っている。		
Aと見なしうる姿	オペラやバレエの名曲の魅力を感じ取って積極的に調べたり感想を発表したりしている。	人間の感情や情景が音楽の変化によって表されていることを、音楽の諸要素の効果と関連づけて感じ取っている。		人間の感情が総合された芸術活動によってより豊かに表現されていることの魅力を感じ取って鑑賞している。
Cと思われる生徒への対応の例	・その音楽が表そうとしている感情や情景に注意させて興味をもたせる。	・人間の感情や情景の変化と音楽の変化とを関連づけて鑑賞するように助言する。		・映像資料を十分に活用して総合的な舞台芸術の魅力を感じ取らせる。

指導のポイント (評価の場)	オペラの名曲	アリア 人間の感情と音楽 歌とオーケストラによる表現のよさ
	バレエの名曲	踊りと音楽 場面の様子や登場人物の感情と音楽

第3学年 No.6

学習主題	日本の伝統芸能〔鑑賞〕			
学習主題のねらい	能・文楽・歌舞伎を通して日本の伝統芸能を愛好する心情を育てる。			
教材例	能	文楽	歌舞伎	
教材の特性	声や楽器の音色と舞	声や楽器の音色と人形	江戸の民衆が愛した舞台芸術	

	音楽への関心・意欲・態度	音楽的な感受や表現の工夫	表現の技能	鑑賞の能力
評価規準	日本の伝統芸能に関心をもって意欲的に学習活動に取り組んでいる。	それぞれの芸能における声や楽器について、音色やリズムの特徴を感じ取っている。		日本の伝統的な芸能の音楽的効果を感じ取って鑑賞している。
Aと見なしうる姿	日本の伝統芸能に関心をもち、積極的に調べたり鑑賞したりしている。	それぞれの芸能について、歌や語りの発声、楽器の音色、独特なリズムや間の取り方を感じ取っている。		それぞれの芸能の独特な魅力を音楽的効果との関連を意識して鑑賞している。
Cと思われる生徒への対応の例	・それぞれの芸能のうち、興味を感じたことを手がかりにして学習を進める。	・下座音楽を取り上げて、場面の様子や音楽とのかかわりや、その独特な効果を感じ取らせる。		・能と歌舞伎の舞台を比較し、それぞれの印象や気分の違い、声や楽器の音色の違いなどについて話し合わせる。

指導のポイント (評価の場)	能	奥深さ 謡と舞 楽器
	文楽	思いのこめられた劇的な気分 太夫 太棹三味線 人形
	歌舞伎	華やかさ 長唄 下座音楽

第3学年 No.7

学習主題	世界の音楽と郷土の芸能〔鑑賞〕			
学習主題のねらい	音楽や芸能を通してそれぞれの国や地域の特色を理解し、多様な文化に親しもうとする態度を育てる。			
教材例	郷土の芸能	世界の民族音楽		
教材の特性	地域の風土と文化	世界各地の特色ある音楽		

評価規準	音楽への関心・意欲・態度	音楽的な感受や表現の工夫	表現の技能	鑑賞の能力
	日本の芸能や諸民族の音楽に興味をもち、意欲的に学習活動に取り組んでいる。	日本の芸能や諸民族の音楽からそれぞれの固有な味わいや特徴を感じ取っている。		
Aと見なしうる姿	日本の芸能や諸民族の音楽に興味をもち、それぞれの固有な美しさを楽しんで鑑賞している。	日本の芸能や諸民族の音楽の特徴を、リズムや音色などの諸要素の働きと関連づけて感じ取っている。		音楽の諸要素や人々の生活・文化との関連を理解して、日本の芸能や諸民族の音楽の固有な美しさを味わっている。
Cと思われる生徒への対応の例	・それぞれの地域の人々の生活や文化を記録した映像などを活用して関心を高める。	・歌、踊り、楽器などが総合された表現の特徴を、楽器や声の響きなどに焦点を当てて感じ取らせる。		・それぞれの地域の人々の生活や文化との関連を大切にして、その独特な味わいを感じ取らせる。

指導のポイント (評価の場)	郷土の芸能	総合された表現 各芸能の固有の特徴
	世界の民族音楽	楽器や声の特徴 楽器の特性と音楽との関連

第3学年 No.8

学習主題	人間と音楽〔鑑賞〕			
学習主題のねらい	人間が生きていく上で必要な音楽の力を感じ取り，積極的に音楽に親しもうとする心情を育てる。			
教材例	音楽のもつ力	合唱の名曲を聴こう		
教材の特性	心を結ぶ音楽	合唱の魅力		

評価規準	音楽への関心・意欲・態度	音楽的な感受や表現の工夫	表現の技能	鑑賞の能力
	人間や社会に対して音楽の果たす役割に関心を持ち，学習活動に取り組んでいる。	多数の人の声の響きによる表現の効果を感じ取っている。		
Aと見なしうる姿	人間や社会に対して音楽が果たす役割に関心を持ち積極的に調べたり聴いたりしている。	大規模な合唱曲の豊かな響きや表現の効果を歌詞や音楽の諸要素の働きと関連づけて感じ取っている。		合唱のもつ声の響きや表現力の豊かさ，音楽のもつ人間・社会への力を理解して鑑賞している。
Cと思われる生徒への対応の例	・音楽が平和や福祉のために役立っている様子を映像資料で紹介し，関心をもたせる。	・それぞれの曲の気分や音楽的特徴を感じ取らせるようにする。		・チャリティーコンサートやミュージックセラピーの様子を映像資料で視聴させる。

指導のポイント (評価の場)	音楽のもつ力	音楽が果たす役割
	合唱の名曲を聴こう	合唱の響きと表現